

2021年1月19日

加盟校並びに加盟員の皆様へ

関東学生ゴルフ連盟
会長 黒須一雄
感染対策委員会

感染対策への御礼とお願い

謹啓

新たな年を迎え、加盟校、加盟員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。本年もよろしくお願い致します。

また、昨年はコロナ禍で、多くの試合が中止となったことへのお詫びと、唯一開催することができた秋季対抗戦へのご協力に対し、皆様へ心より御礼を申し上げます。その一方で、参加できなかった若干の加盟校に対しては、その状況が整いましたら、参加をさせて頂けるようお待ち申し上げます次第です。

昨年、厳格かつ細部にわたっての感染症対策を行いました秋季対抗戦は、男女全てのブロックにおいて、つつがなく競技を終えることができました。皆様のご協力、誠にありがとうございました。

しかしながらその一方で、競技会前のPCR検査で1名、その他、競技には直接影響はありませんでしたが、競技会前後の段階で3名の陽性者も確認されており、忍び寄るこの感染症の実状、怖さも目の当たりにしました。

そして現在、感染が急拡大となり、限定的とはいえ緊急事態宣言が再度発令され、日常生活はもとより、学生のスポーツ競技への多大な影響も余儀なくされております。

医療専門家を配している本連盟の感染対策委員会では、特効薬開発やワクチン接種の迅速化が果たされない限り、山や谷はあれども、根本的な収束は成されないとの見方が強く、2021年もよりしっかりとした感染症対策のもと、競技運営をせざるを得ない状況です。

そこで本連盟と致しましては、

2021年度の感染対策の基本指針を、下記に明確に挙げさせて頂きたいと思っております。

- ① 加盟員とその関係者、ご家族の健康と生命を守ることを最優先する。
- ② 責任を持って感染症対策を徹底し、感染拡大防止に努め社会（日本国）に協力する。

以上の2つの骨子を指針とし、

「競技をやらせてあげたい！」と同時に、それ以上にこの基本指針を軸に考え、安心・安全

な競技運営を目指す所存です。それゆえ感染症の拡大状況によっては、時として厳しい判断を下さざるを得ないこともご容赦頂きたいと存じます。

また、この感染拡大状況を踏まえ、新年度の部活動が始まる前に、注意喚起の意を込めて今一度のお願いを本連盟から発信したいと思えます。(既に出来ている加盟校もあるかと思いますが、念のためご確認下さい)

1、ガイドラインに明記されている「感染対策委員」を各校で必ず設置をお願い致します。

*現役の幹部学生が望ましいです。また本連盟から各感染対策委員に対してのリモートレクチャー会等も、適宜開催を考えております。2月中旬までに、所定用紙を配布しますので、本連盟事務局に委員のお名前・連絡先等を、そこに記入しお知らせ下さい。(FAX可)

2、感染対策委員を中軸にガイドラインを全部員が熟読し、その内容理解と周知徹底を図る。

3、部内での感染対策ルールを作成し、感染対策への意識と統制を高める仕組み作り。

4、普段の部活動から、検温並びに体調管理チェックを習慣化。

(マスク着用、手指消毒等は、当然できていると想定)

5、部員が体調異変(発熱、のどの痛み、味覚障害等)を申し出しやすい環境作りと、その場合の対応フォーマットを仕組み化。

6、不測の事態が発生した場合は、所属大学当局への連絡と同時に本連盟にもご連絡下さい。

状況把握すると同時に、ご相談に乗れることもあるかと思えますので。

以上です。

この新型コロナウイルス感染症において、昨今では症状が出にくい若年層にも感染後に「後遺症」で悩ませられる症例も多数認められており、風邪などの軽い疾病とは全く異なるものです。また、感染した方々の話では、人へ移したかもしれない疑念や少なからず迷惑をかけたことへの贖罪の気持ちで、メンタル面の障害も引き起こすと言われております。

本連盟では、未来ある加盟員の皆様(含、関係者・ご家族)を、この感染症の苦難からガードし、安心・安全な競技運営を目指したいと強く思っております。

何卒ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白